

# ケーブルカー・リフト事業

## 安全報告書

<2022>



丹後海陸交通株式会社

## 丹後海陸交通株式会社 安全報告書（2022） （ケーブルカー・リフト事業）

平素は天橋立ケーブルカー・天橋立リフトをご利用いただき誠にありがとうございます。

従前より当社では、経営トップをはじめ全従業員が輸送の安全の重要性を深く認識し、安全最優先の取り組みを行ってまいりました。

本報告書は、運輸安全マネジメント制度に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

ケーブルカー・リフト事業は、一昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う人々の外出自粛により、多大なる影響を受けました。非常に厳しい事業環境ではございますが、2022年度の全社スローガンを「トライ&チャレンジ」とし、新型コロナウイルスの影響を乗り越えたウイズコロナ・ポストコロナ時代を見据えての様々な試みに前例にとらわれることなく、取り組みを進めることとしました。お客様が笑顔で安心してご利用いただけるように、引続き全社一丸となって事故を起こさないこと、コンプライアンスを守ること、お客様サービスの向上を図ることを主要なテーマとして取り組み、常に「安全・安心・快適」の向上に努めてまいります。

お客様からの声を安全輸送に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

丹後海陸交通株式会社

代表取締役社長 廣瀬 一雄

### 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

#### (1) 「一致協力による安全確保」

全社一致協力して輸送の安全確保に努める。

#### (2) 「規程の遵守」

安全に関する法令および規程をよく理解・遵守し厳正、忠実に職務を遂行する。

#### (3) 「状況の理解」

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。

#### (4) 「確認の励行」

職務の遂行にあたり推測によらず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取扱いをする。

#### (5) 「人命優先」

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。

#### (6) 「情報の透明性」

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

#### (7) 「改善」

常に問題意識を持ち、輸送の安全にかかる業務上の改善を行う。

#### (8) 「作業の確実」

作業にあたっては、関係者との連絡を緊密にして打ち合わせを正確に行い、お互いに協力する。

## 2. 2021年度事故概要

### (1) 運転事故

ケーブルカー・リフト運転事故 0件

### (2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

ケーブルカー・リフト災害 0件

### (3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

国土交通省への報告は下記2件です。

2021年12月27日 原因 積雪によるもの

2021年12月31日 原因 積雪によるもの

### (4) インシデント(事故の兆候)

国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。ヒヤリハット報告をもとに、より安全な取扱い方法を常に採用することでインシデントを未然に防止しています。

## 3. 2021年度輸送の安全に関する取り組み

### (1) 安全推進会議の開催

社長をトップとする安全推進会議を毎月開催し、安全指導の具体的な年間計画を立案するとともに、その計画に基づいた教育指導および訓練の状況、事故、ヒヤリハットや整備状況などの報告を行い、具体的な指導方法等について協議し、事故防止および改善に取り組みました。

### (2) 内部監査員による内部監査の実施(2022年1月11日・26日実施)

安全方針・目標・計画の取り組み状況について定期的にチェックし、安全上の問題点がないか、改善に向けて取り組みました。

**【監査結果】** 不適切な事項はなく、運輸安全マネジメントに関する取り組みが適切に行われていることを確認しました。

### (3) 災害発生時における救急体制の取り組み

地元消防機関である宮津与謝消防組合との間で、災害が発生した場合の相互連絡、協力体制を定め、安全で迅速な救助活動を行えるようにしています。

### (4) 外部教育研修の充実

- ヒューマンファクター研究会 2回
- ヒューマンファクターシンポジウム 1回
- 運輸防災マネジメント研修・セミナー 4回
- 運輸安全マネジメント総合セミナー 2回
- バリアフリー推進勉強会 2回
- 普通救命講習・一般救命講習 各1回

(5) 教育訓練

- ケーブルカー救助訓練 3回
- リフト救助訓練 3回
- リフト予備原動機の稼働訓練 2回
- 津波対応訓練 1回
- 防火訓練 2回



(6) 安全投資

- ケーブルカー
  - (原動設備) ・ 巻上機器（非常用制動機）押上機更新
  - (電気設備) ・ 受電設備更新
  - (軌道) ・ 老木の伐採（強風による軌道内への倒木防止）
- リフト
  - ・ 減速機更新
  - ・ 握索機更新



(7) その他の輸送の安全に関する主な取り組み

- 社長巡視・視察 6回
- 安全統括管理者職場巡視・視察 18回
- 飲酒運転防止対策委員会の開催 3回
- コンプライアンス教育 5回
- 規程・マニュアル関係再教育 4回
- 運輸安全マネジメント教育 2回
- 機器の扱い・基本動作教育 3回



(8) 新型コロナウイルス感染防止対策

- 車内、施設内のアルコール消毒および換気の徹底
- 全従事員の入社時の検温および健康状態確認
- 手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用の徹底
- ケーブルカー運転席周囲および改札口にビニールシート取付



#### 4. 2022年度輸送の安全に関する目標

##### [定量的な目標]

➤ 人身障害事故

人身障害事故を発生させない（前年度発生0件）

➤ ケーブルカー運転事故

運転事故を発生させない（前年度発生0件）（衝突・脱線・火災）

➤ リフト運転事故

運転事故を発生させない（前年度発生0件）（衝突・脱索・火災）

##### [定性的な目標]

ヒヤリハット報告の内容を分析し、常により安全な取扱い方法を採用するとともに、情報の共有化を進めます。

内部監査制度の活用により、更に安全な運行体制の確立に取り組みます。

自然災害の対応力強化のため、災害時の被害低減に向けた防災意識と危機対応力の向上に取り組みます。

#### 5. 2022年度輸送の安全に関する安全重点施策

全従業員に対し、基本動作および確認の励行を徹底させ、計画的に基本動作のチェックを行います。自社・他社の事故、ヒヤリハット情報を迅速・正確に収集し、情報を共有化するとともに、安全意識の維持向上並びに技術・技能の伝承、異常・故障を感知できる知識や感性の育成に取り組みます。

## 6. 2022年度輸送の安全に関する計画

### (1) 「安全綱領」の掲出

安全を常に意識して業務に努めるよう、「安全綱領」を各駅に掲出します。

- ▶ 安全の確保は、輸送の生命である
- ▶ 規程の遵守は、安全の基礎である
- ▶ 執務の厳正は、安全の要件である

### (2) 安全推進会議の開催

輸送の安全確保の実効性を高めるため、社長をトップとする安全推進会議を毎月開催し、安全指導の具体的な計画を立案するとともに、その計画に基づいた教育指導および訓練の状況、事故、ヒヤリハットや整備状況などの報告を行い、具体的な指導方法等について協議し、事故防止および改善に取り組みます。

### (3) 内部監査員による輸送の安全に関する改善

内部監査員により、「安全方針・目標・計画」の取り組み状況を定期的にチェックし、安全上の問題点があれば、積極的に改善に取り組みます。

### (4) 教育・研修の充実

全従業員を対象に社内で運輸安全マネジメント教育を実施するとともに安全に関する社外研修会に積極的に参加させることで、技術の向上および安全意識の更なる醸成を図ります。また、乗務員指導管理者を選任し、計画的に従事員への教育を行います。

また、運転事故や災害を想定した訓練を実施し、異常時対応能力を向上させます。なお、例年3回実施している救助訓練については、本年7月の安全運転推進運動時に消防署と連携して、体調不良や負傷を伴ったお客様の移送を想定した合同訓練を実施します。

### (5) 安全投資

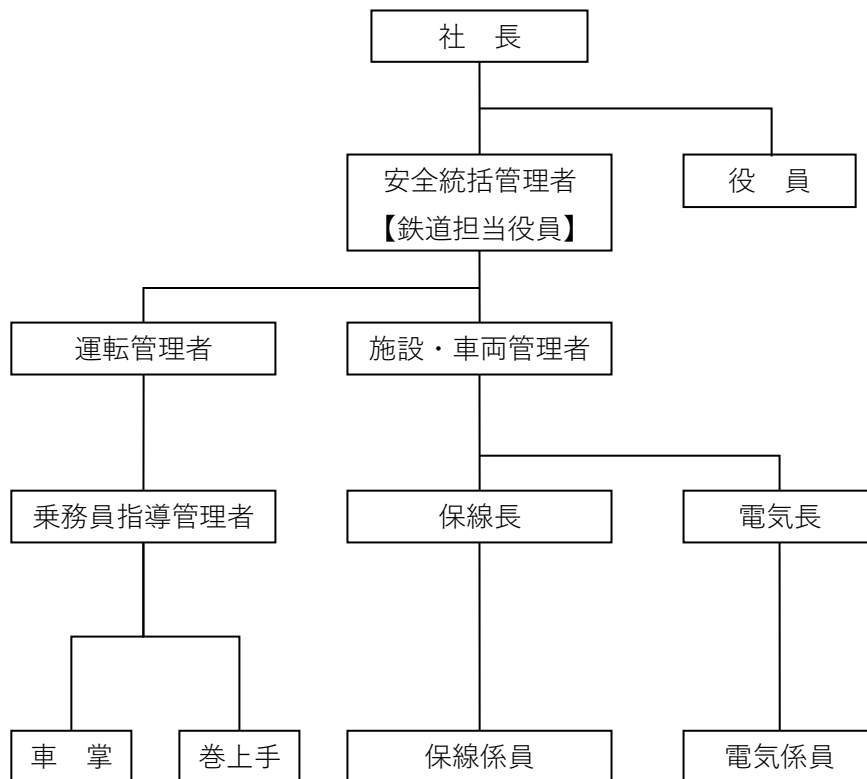
- ▶ ケーブルカー
  - ・誘導無線更新
  - ・受電設備更新
- ▶ リフト
  - ・握索機更新

### (6) 新型コロナウイルス感染防止対策

- ▶ 車内、施設内のアルコール消毒および換気の徹底
- ▶ 全従事員入社時の検温および健康状態確認
- ▶ 手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用の徹底

## 7. 安全管理体制

[ケーブルカー]

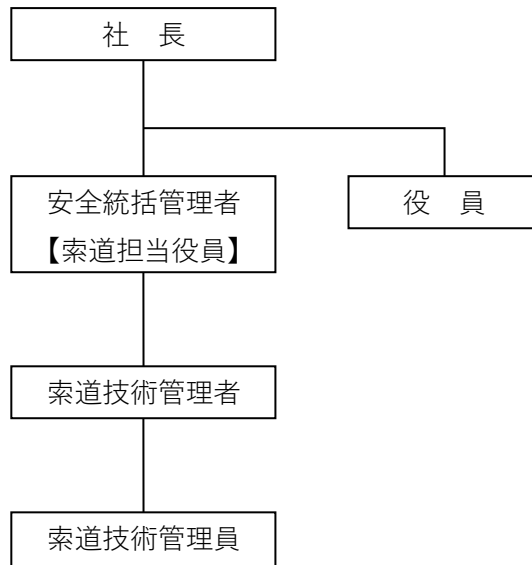


役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設および車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、巻上手および車掌および保守要員の資質の維持に関する事項を統括する。

安全統括管理者 (2022年3月31日現在)

取締役 経営企画部長 林 忠広

[リフト]



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安 全 統 括 管 理 者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索 道 技 術 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索 道 技 術 管 理 員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

安全統括管理者 (2022年3月31日現在)

取締役 経営企画部長 林 忠広

## 8. お客様へ

「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される運行を行うため、皆さまからお寄せいただいた声を役立てていきます。今後とも電話やメール等で日々お寄せいただくご意見を分析しながら、業務に反映させてまいります。

## 9. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

### 【ご連絡先】

丹後海陸交通株式会社 経営企画部 内部監査担当

京都府与謝郡与謝野町字上山田 641 番地 1

TEL 0772-42-0330

FAX 0772-42-0349

E-mail webmaster@tankai.jp